

(6月21日) : ETF ポートフォリオの再構成にもかかわらず株価は動かず

金曜日の株式市場は ETF の調整にかかわる取引の最終日だったが、指数は小動きにとどまった。

ホーチミン取引所の VN 指数は変わらずの 959.20 ポイントで取引を終えた。週初めの 2 営業日は下落したが、週間では 0.6%ほど上昇した。

ETF ファンドに絡む取引のお陰で流動性は 1 か月ぶりの高水準であった。出来高は 2 億 600 万株で売買代金は 5.45 兆ドン (2 億 3400 万株) であった。

ETF ファンドのポートフォリオ見直しの最終日であったため、外国人による取引は大きく増加した。ほとんどすべてのポートフォリオに組み入れられている銘柄が取り引きされ、売買代金にして 3.8 兆ドンであったが、買いが 1.7 兆ドンで売りが 2.06 兆ドンほどであった。

翌四半期に向けて組み入れられた銘柄である、PV パワー (POW) は大きく変われ、855 億ドンほどの買い越しになった。前場では株価が上昇していたが、最終的には 0.7%下落して 15,400 ドンで取引を終えた。

一方、FTSE ベトナム ETF ポートフォリオの比重が引き下げられたにもかかわらず、外国人投資家はホアファットグループ (HPG) を 180 億ドンほど買い越した。HPG の株価は金曜日に 0.4%ほど上昇した。

ETF ポートフォリオから除外されたサコムバンク (STB)、ペトロベトナム肥料化学 (DPM)、ホアンアインザライ農業 (HNG) は大きく売られた。それらの銘柄の株価は 0.4-1.8%ほど下落した。

外国人投資家からのサポートが無かったため、ハノイ取引所の HNX 指数は 0.2%ほど下落し、104.85 ポイントで取引を終えた。4 営業日連続の上昇もあり、先週の HNX 指数は 1.34%ほど上昇した。

出来高は 3700 万株で売買代金は 3610 億ドンほどであった。

バオベト証券によると、965-966 ポイントまで反発するより前の段階で、今週の株式相場は高いボラティリティの中で、調整をすることになるかもしれないとのことだった。

この抵抗線（965-966 ポイント）は VN 指数の短期的な上限だと考えられている“と同社は予想した。”そのため、このゾーンまで上昇した時には方向を変え、下落するだろうとのことだった。

同社のデイリーレポートによると、投資家は G20 サミットにおける米中対話と米国とイランの緊張による世界の石油価格の変動などの国際的なイベントを注視するべきであるとのことだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。